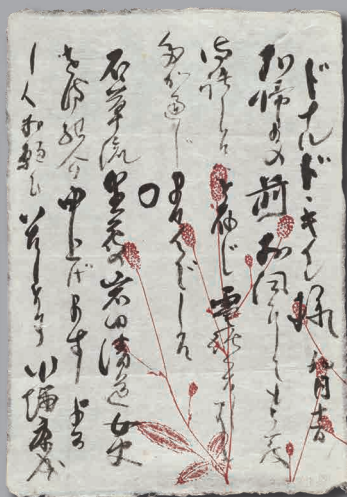




ドナルド・キーン・センター 柏崎
開館記念特別展



日本文学の
世界への
広がり



川端康成から
ドナルド・キーンへ
宛てた書簡、その後

二〇一三年

九月二十一日(土)――

十二月二十五日(水)

開館時間
10時～17時 (入館は16時30分まで)

休館日
毎週月曜日 (祝日、振替休日の場合はその翌日)

入館料

大人 500円・中高生 200円・小学生 100円

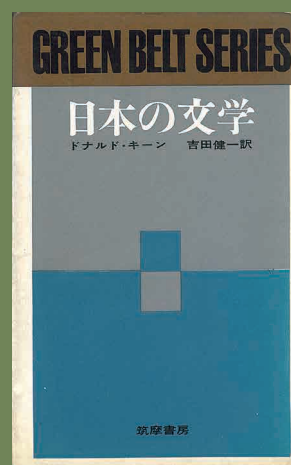
入館料

ドナルド・キーン・センター 柏崎
公益財団法人ブルボン吉田記念財団
新潟県柏崎市諏訪町一〇一七
電話・〇二五七―二八―五七五五



右上：自筆書簡にて 川端康成
写真提供 新潮社
左上：石草流 初代家元 岩田清道著
『華と石』より
右下：日本語版『日本の文学』
(吉田健一訳)
左下：商館にて
(二〇一二年)

ドナルド・キーン・センター 柏崎
DONALD KEENE CENTER KASHIWAZAKI



川端康成から ドナルド・キーンへ 宛てた書簡、その後

常設展示「ドナルド・キーンの文学研究世界を彩る人物図鑑」の「川端康成」のコーナーで展示する書簡(川端がキーン先生に石草流生け花の創始者、岩田清道女史を紹介)が、その後、何を生み出し、どのような世界を創出したかを紹介します。



石草流 初代家元
岩田清道

(本名:岩田道子)
石草流華道 初代家元
明治27年(1894年)6月24日広島県生 軍医
総監の娘として生まれる。
平成4年(1992年)9月20日神奈川県三浦郡葉
山町にて98歳にて没。
夫 岩田幸夫(三井銀行勤務)との間に一男三
女をもうける。
昭和37年(1962年)ホテルオークラ(現在ホ
テルオークラ東京)創立時の意匠委員会に参
画、創業時よりホテルオークラの生け込みを
始める。



岩田清道 著『石草』



川端康成からの毛筆書簡

ドナルド・キーンが英訳した川端康成の作品は、石草流生花についての短いエッセイだけである。この毛筆書簡は、その創始者である岩田清道女史をキーンに紹介した書状。

所蔵: コロンビア大学C.V.スター東亞図書館



川端のエッセーとキーン先生の英訳文が載ったパンフレット

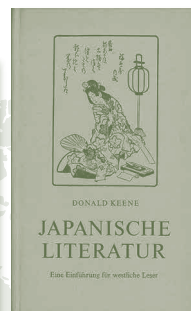
日本文学の 世界への広がり

ケンブリッジ大学で学部生に日本語を教えながら日本文学の研究を続けていたドナルド・キーンは1952年、「日本文学」についての5回の連続講義を開く。しかし、200人は入る大きな教室に参加者は僅か10人。挫折感を抱き、一時、日本文学研究を棄てようと考えた。その講義が、翌1953年に“Japanese Literature: An Introduction for Western Readers”として出版されることになる。そして、この本は、いまや世界中で「日本文学」を学ぶ学生たちのテキストとして使われており、息の長いベストセラーとなっている。

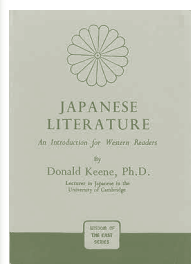
こうして、世界に広がる日本文学研究の実情、さらには、日本国内でも広がりを見せるドナルド・キーンの日本文学研究の世界を紹介します。



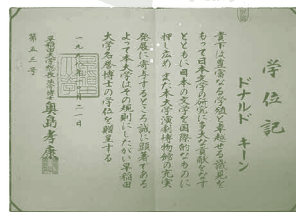
日本語版『日本の文学』
(吉田健一訳)
出版社: 筑摩書房
出版地: 東京
出版年: 1963年



スイス発行ドイツ語版
“Japanische Literatur”
出版社: Orell Füssli Verlag
出版地: チューリッヒ
出版年: 1962年



ドナルド・キーン著
“Japanese Literature:
An Introduction for Western
Readers” (『日本の文学』)
出版社: John Murray
出版地: ロンドン
出版年: 1953年



早稲田大学名誉博士学位記
1998年10月21日授与



コロンビア大学名誉文学博士号
1997年5月21日授与

ドナルド・キーン・センター 柏崎
DONALD KEENE CENTER KASHIWAZAKI

ドナルド・キーン・センター 柏崎
公益財団法人 ブルボン吉田記念財団

〒945-0063 新潟県柏崎市諏訪町10-17
TEL・FAX 0257-28-5755
www.donaldkeenecenter.jp/

JR信越本線 柏崎駅前より、
市内循環バス「かざぐるま」
東本町先回り線「中央町」バス停
下車徒歩約3分

